

2015年度 卒業研究 論文題目

◎ 基礎・健康開発看護学講座

➔ 看護アセスメント学分野

(指導教員 丸山良子)

- ・ 自律神経活動と湿潤環境の変化からみたベッドマットレスの評価
- ・ 出生体重と生活習慣病の関連について-高出生体重に着目して-
- ・ 循環動態・自律神経活動に与える運動の影響について
- ・ 不安と血圧・自律神経活動の関連について
- ・ 異なるマットレスを用いた30度側臥位における体圧分散の有効性
- ・ 出生体重と自律神経活動・血清脂質の関連について-男女差の比較-
- ・ 異なる運動習慣がもたらす自律神経活動への影響

(指導教員 菅野恵美)

- ・ NKT細胞の活性化が創傷治癒過程に与える影響～ α -GalCer創部投与による検証～
- ・ 皮膚創傷治癒過程におけるC型レクチン受容体を介したダメージ関連分子パターンの役割 ～SAP130に注目して～
- ・ 皮膚創傷治癒過程における インターフェロン (IFN) - γ の役割

(指導教員 菅野恵美、東北薬科大学病態生理学 宮坂智充)

- ・ *Cryptococcus neoformans*由来オリゴヌクレオチドによるアレルギー性免疫応答の抑制効果 ～気管支喘息マウスモデルを用いた検討～

➔ 看護教育・管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・ 男性看護師の生存戦略：男性ならではの意識・行動・役割の様相

➔ 老年・在宅看護学分野

(指導教員 尾崎章子)

- ・ 高齢者の胃瘻造設に関する代理的意思決定が家族に及ぼす影響についての文献検討
- ・ 在宅認知症高齢者の家族介護者の介護経験に関する男女差の検討

(指導教員 齋藤美華)

- ・ 定年退職後の高齢男性の社会参加の要因についての文献検討
- ・ 定年退職後に社会参加している高齢男性の特徴についての文献検討

➔ 地域ケアシステム看護学分野

(指導教員 末永カツ子)

- ・ 難病を持つ人の就労困難性に関する文献検討
- ・ 東日本大震災の原子力災害下における看護職の経験に関する英語論文の検討
- ・ 発達障害児および被虐待児を対象としたレジリエンス研究の文献検討

(指導教員 高橋香子)

- ・ ALS 療養者と看護者が抱える困難性における文献研究—コミュニケーションの観点から—

➔ 公衆衛生看護学分野

(指導教員 大森純子)

- ・ 住民同士による継続的な日常の交際をもたらす保健師の介入
- ・ 不妊治療を受ける女性のストレスに関する文献検討
- ・ 向老期の人々が地域住民と交流をもとうとする認識の変化の要因

(指導教員 田口敦子)

- ・ 訪問看護師を対象とした在宅看取りの教育プログラムの開発
- ・ 特定機能病院における外来看護師の在宅療養支援内容の明確化
- ・ 特定機能病院に勤務する外来看護師による在宅療養支援の実態
- ・ 地域在住高齢者に対する食バランス改善プログラムの開発 —効果が見られなかった参加者の要因分析—

◎ 家族支援看護学講座

➔ 成人看護学分野

(指導教員 菊地史子)

- ・ 終末期リハビリテーションの現状についての文献検討-終末期がん患者におけるリハビリテーションの意義-
- ・ 終末期リハビリテーションにおける看護師とセラピストの協働-終末期リハビリテーションに対するセラピストの思いに着目して-

➔ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・ がん患者の闘病継続の「支え」に焦点を当てた文献検討
- ・ がん患者を看取る家族の体験に関する文献検討
- ・ 術後がん患者の生活の再構築を促進する要因に関する文献検討

(指導教員 佐藤菜保子)

- ・ 肺癌術後1年が経過した化学療法中の患者の心理
- ・ 聴き手の精神的健康状態と音楽の嗜好に関する研究

➔ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・ がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームの診察数に関連する要因の検討
- ・ 遺族による認知症患者における望ましい死の達成状況の評価
- ・ 遺族調査において宗教的背景がある緩和ケア病棟のほうが質が高く評価される理由の検討
- ・ がん患者の家族介護者のQOLに影響を与える要因 —日本語版CQOLCを用いた検討—
- ・ 宗教や死生観ががん患者の遺族の悲嘆に与える影響
- ・ 遺族による認知症患者の終末期の介護体験の評価
- ・ 日本人におけるがん疼痛治療の個別化された目標Personalized Pain Goalの検討

➔ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽仁、鈴木祐子、井上由紀子)

- ・ 大学生が過去に受けた喫煙防止教育と現在の喫煙に対する認識の関連
- ・ 病気の子供とその家族のための滞在・宿泊施設を利用した家族の意識に関する研究
- ・ 親が病気になった場合の子供への病気説明に関する親自身の認識
- ・ 大学生が認識する子供時代の教師との心理的距離および教師の勢力資源の関連
- ・ 福島県で遊びのボランティアを活用している子育て中の母親が抱える課題とボランティア活動に期待する内容に関する調査
- ・ 大学生が子供時代に抱いた病院に対するイメージとその形成に関わる要因

➔ 精神看護学分野

(指導教員 齋藤秀光)

- ・ 緩和ケアにおける患者家族の心理状態について-在宅ホスピスケアと緩和ケア病棟・ホスピスを比較して-
- ・ ターミナル期にある患者の家族に対する支援についての文献検討-子を亡くす親，親を亡くす子を比較して-

(指導教員 吉井初美)

- ・ 成人期の広汎性発達障害者への看護上の困難感と対応：レビュー
- ・ 双極性障害と青年期までの家庭環境に関する研究動向：レビュー -効果的な支援，看護介入の考察-

➔ 周産期看護学分野

(指導教員 佐藤喜根子)

- ・ 東日本大震災4年目の父親の心身の健康状態と育児に対する姿勢との関連について
- ・ 母親の心身の健康状態が東日本大震災時に胎児だった子どもの現在の発育に与える影響について
- ・ 周産期メンタルヘルス研修の効果

(指導教員 小山田信子)

- ・ 女子大学生が女性の体や妊娠・ダイエットに関して女性雑誌から得られる情報
- ・ 助産所妊婦健診における助産師の妊婦に対する関わりの特徴

➔ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・ 宮城県における出産準備教育プログラムの実態に関する研究
- ・ 日本版I FEEL PICTUREを用いた父親の情緒応答性に関する研究
- ・ 女性の足関節低背屈運動が下肢血行動態に及ぼす影響

(指導教員 跡上富美)

- ・ 次子妊娠に対する死産を経験した夫婦の思いに関する文献研究
- ・ 20代の未婚女性がとらえる自己の「妊娠できる力」の内容
- ・ 日本人中年男性の自殺念慮に影響を与える心理的ストレスの内容

(指導教員 中村康香)

- ・ 安静治療を受ける切迫早産妊婦の身体活動量と心理的影響

🌸 医学系研究科他専攻分野

➡ 行動医学分野

(指導教員 福土審)

- ・ 過敏性腸症候群における 2D : 4D 比の意義 -病型分類, コーピング方略, 自己効力感との関連-

➡ 運動学分野

(指導教員 永富良一)

- ・ 在宅高齢者の筋力トレーニングの効果に関する文献検討